

令和4年度 第1回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時	令和4年4月19日(火) 13:10~14:00
場 所	特別会議室
出 席	〔委員〕有馬学長、年森委員、長友委員、辻人文学部長、森部附属図書館長、竹野地域研究センター長、川瀬(隆)学生部長、四方教務部長 〔事務局〕田山地事務局長、笠島企画総務課長、藤浪学務課長、山本学生支援課長、東企画総務課長補佐、梶原企画総務課長補佐、椎葉学生支援課長補佐、福元学務課長補佐
配付資料	資料1 宮崎公立大学学長選考会議委員の選出について 資料2 入学者選抜の志願者等の年度別推移 資料3 令和3年度就職状況

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

I 議事

議事1 宮崎公立大学学長選考会議委員の選出について

資料1に基づき、事務局から、学長の任期満了に伴い学長選考会議を設置するため、学長選考会議の委員選出について説明があった。

審議の結果、事務局の提案通り、教員研究審議会から、3名の委員が学長選考会議の委員となることが承認された。

II 報告

報告1 令和3年度入学者選抜の実施状況について

資料2に基づき、事務局から、令和3年度入学者選抜の実施状況について報告があった。

報告2 令和3年度就職状況について

資料3に基づき、事務局から、令和3年度就職状況について報告があった。

III その他

委員より、大学院進学の実況について質問があり、毎年度、1~2名の学生が進学していること、主に、所属ゼミの教員から指導を受けていることが報告された。

加えて、これからの時代において、県内で起業する学生も想定され、例えば経営学の修士課程を希望する学生も出てくると考えられる。可能性として検討してはどうかとの意見があった。

委員より、小学校の教員免許の取得に関する支援について質問があり、本学では、星槎大学の科目等履修生として、別途学費の負担が生じるが、免許取得に必要な科目の履修について支援を行っていることが報告された。

委員より、高校教員の採用状況について質問があり、現役合格できる学生もいるが、3~5年程度経験を積み、やる気と信念のある学生が合格しているとの報告があった。

委員より、4月から学食がプレオープンしたが、来年度のグランドオープンと併せて、福利厚生棟のリニューアルについて、例えば、学生と社会がつながる空間としての利用等、全学的に検討していただく必要があるのではないかと意見があり、学食のグランドオープンに向けて、学生に周知し利用を促すとともに、福利厚生棟も含めた検討を行うことを確認した。

次回開催日時 5月17日(火) 13:10~14:20

令和4年度 第2回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日	時：令和4年5月17日（火）13：10～15：00
場	所：特別会議室
出	席：〔委員〕有馬学長、年森委員、長友委員、辻人文学部長、森部附属図書館長、 竹野地域研究センター長、川瀬（隆）学生部長、四方教務部長 〔事務局〕田山地事務局長、笠島企画総務課長、藤浪学務課長、山本学生支援課長、 東企画総務課長補佐、椎葉学生支援課長補佐、福元学務課長補佐
欠	席：〔事務局〕梶原企画総務課長補佐
配付資料：	
	資料1-1 認証評価（第3サイクル）について
	資料1-2 点検評価ポートフォリオ（案）
	資料2 宮崎公立大学における「助教」について
	資料3-1、3-2 教員採用について（案）
	資料3-3 令和4年度教員選考会議等スケジュール
	資料4 令和4年度 自主講座申請一覧（申請書提出順）

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

I 議事

議事1 点検評価ポートフォリオについて

資料1-1、1-2に基づき、事務局から、認証評価の受審に伴う、点検評価ポートフォリオについて説明があった。

審議の結果、原案通り承認され、認証評価機関である「大学教育質保証・評価センター」に提出することとなった。

（主な意見）

- ・P10改善を要する点の「昇任方針の見直し」とは具体的にどのようなことかと質問があり、専任教員の数と年齢構成が今後も大学設置基準第13条を満たすよう見直しを図る必要があると説明があった。
- ・Ⅲ「基準3 特色ある教育研究の進展」の記載に関して「継続性はあるが新規性は」と質問があり、P40「地域と連携する取組」のこゆ財団寄附講座や街市特別講座、P39の4年間の体系的な演習の実践（基幹演習Cなど）であると説明があった。
また、基準3は新規の取組みだけでなく、自主講座や定期公開講座など長年続けてきたことが発展し続けていることが本学の特徴であると意見があった。

議事2 宮崎公立大学における「助教」について

資料2に基づき、事務局から、本学における「助教」の取扱について、これまでの経緯と今後の対応方針について説明があった。

審議の結果、原案通り承認された。

議事3 教員の新規採用について

資料3（当日配付資料）に基づき、事務局から、令和4年度に予定している教員の採用について説明があった。

審議の結果、多数の応募につながるよう一部文言を修正し、募集を開始することが承認された。

（主な意見）

- ・点検評価ポートフォリオとの関連で、今後の教員の退職に伴う職位の推移を考えて採用

計画を立てた方が良い。

- ・教員採用は、学長の専決事項であり、学長の方針に基づいて進めることと認識しているが、今後退職となる教員が続くこと、引き続き教職の条件（課程認定）を満たしていく必要があること、更には次期カリキュラムの検討も控えていること等から、全体として、今後数年間の教員採用の方向性を確認する場が必要ではないか。

II 報告

報告 1 令和 4 年度自主講座について

資料 4 に基づき、委員から、令和 4 年度自主講座の申請結果（10 件）について報告があった。

III その他

- ・事務局より、団体役員賠償責任保険に関する説明があった。
- ・委員より、学内における新型コロナウイルス感染症への対策に関して 2 年前とは状況がかなり変わっており、対策の変更を検討すべきではないかと意見があり、近日中に開催予定の危機対策本部で検討することとなった。

次回開催日時 6 月 2 1 日（火） 1 3 : 1 0 ~ 1 4 : 2 0

令和4年度 第3回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時	令和4年6月21日(火) 13:10~14:15
場 所	特別会議室
出 席	[委 員] 有馬学長、年森委員、長友委員、辻人文学部長、森部附属図書館長、竹野地域研究センター長、川瀬(隆)学生部長、四方教務部長 [事務局] 田山地事務局長、笠島企画総務課長、藤浪学務課長、山本学生支援課長、東企画総務課長補佐、梶原企画総務課長補佐、椎葉学生支援課長補佐、福元学務課長補佐
配付資料	資料1 令和3年度業務実績報告書(案) 資料2 令和7(2025)年度宮崎公立大学入学者選抜における変更について(予告) 資料3 宮崎公立大学名誉教授について 資料4 令和4年度宮崎公立大学定期公開講座実施要領 資料5 令和5年度及び令和6年度研究支援年選考実施スケジュール

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

I 議事

議事1 令和3年度業務実績報告書(案)について

資料1に基づき、事務局から、令和3年度計画に基づく業務実績について、教育研究審議会の審議事項に該当する業務実績(案)について、主なものを抽出し説明があった。

審議の結果、原案通り承認され、役員会へ上程することとなった。

委員から「評価4の項目は、その難易度から自己評価3のものが最終的に4になっているのか」との確認があり、事務局からそうである旨の回答があった。

議事2 令和7年度入学者選抜に係る変更について

資料2に基づき、委員から、令和7年度入学者選抜に係る変更について説明があった。

審議の結果、原案通り承認された。

委員から公表の時期についての質問があり、所管部署から、7月に本学ウェブサイトに掲載予定であること、併せて、同月の高校教員向け入試説明会での周知も考えている旨回答があった。

議事3 令和4年度宮崎公立大学名誉教授の選考について

資料3に基づき、事務局から、令和4年度の名誉教授候補者の推薦状況の説明があった。

審議の結果、別添1のとおり、本審議会から教授会に意見聴取依頼をする旨承認された。

委員から、対象者2名の調書の記載の仕方を統一(住所、最終学歴等)した方がよいこと、教授会では推薦書等とともに本選考の根拠規程である『宮崎公立大学名誉教授称号授与規程』も資料として提示してほしいことなどの意見が出された。

II 報告

報告1 令和4年度定期公開講座について

資料4に基づき、委員から、令和4年度定期公開講座の開催について報告があった。

委員から対面とオンライン併用の開催の検討はされたかとの質問があり、所管部会から、検討はしたが担当教員等の負担も考え今回は見送ったが、(どの回かで)試験的に実施してみる可能性はある旨回答がなされた。

報告2 研究支援年について

資料5に基づき、事務局から、令和5年度及び6年度の研究支援年選考実施スケジュールについて報告があった。

委員から、令和6年度については「サバティカル」との整合性はとれるのかとの質問があり、「サバティカル」検討の) 所管部会から、研究支援年とサバティカルは性格が異なるもので、前者は応募制、後者は順番に研修を受けてもらうことを想定しているとの回答がなされ、令和6年度の取扱について、事務局で整理し、教員に周知することを確認した。

Ⅲ その他

委員から、高校の現場に、本学の公務員就職の実績をもっと伝えてほしい旨の要望があった。

次回開催日時 7月19日(火) 13:10～14:20

令和4年度 第4回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時	令和4年7月19日(火) 13:10~14:00
場 所	特別会議室
出 席	[委 員] 有馬学長、年森委員、長友委員、辻人文学部長、森部附属図書館長、 竹野地域研究センター長、川瀬(隆) 学生部長、四方教務部長 [事務局] 笠島企画総務課長、藤浪学務課長、山本学生支援課長、 東企画総務課長補佐、梶原企画総務課長補佐、椎葉学生支援課長補佐、 福元学務課長補佐 (欠 席) 田山地事務局長
配付資料	資料1-1 教員採用について(案) 資料1-2 令和4年度 教員選考会議等スケジュール(案) 資料2 学生の留学について 参考資料 公示(学長選考)

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

I 議事

議事1 教員の新規採用について

資料1(当日配付資料)に基づき、事務局から、令和4年度に予定している教員の採用について説明があった。

審議の結果、「4 担当科目等」について、下記のとおり修正を行うこととなった。

- ・専攻分野、研究業績の「国際経営論」と「経済学」入れ替える。
- ・2) 担当科目の「キャリア教育分野の科目を担当する予定」を「キャリア教育分野の科目等を担当することがある。」に修正して「3) ⑥その他に記載をする。
- ・教員採用スケジュールにおいて、いい人材を確保するには12月中旬の決定では遅いとの意見があり、第2回教員選考会議(8月16日)を待たずに、教員選考会議の委員に持ち回りで承認をいただき、早期に公募を開始することとなった。

II 報告

報告1 学生の留学について

資料2に基づき、委員から、令和4年度公費派遣留学生について、韓国に3名、中国に3名の学生を派遣すると報告があった。

学長から英語圏の留学については、どうなっているか確認があり、カナダ、ハワイ、ニュージーランドが各2名の計6名が決定しており、スターリングは応募がなかったとの報告がされた。

III その他

事務局より、現学長の任期満了に伴い、学長選考に関する公示を行っていることについて報告があった。

委員より、推薦状況に関する質問があり、事務局より回答した。

次回開催日時 8月16日(火) 13:10~14:20

令和4年度 第5回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日	時：令和4年9月20日（火）13：10～14：05
場	所：特別会議室
出	席：〔委員〕有馬学長、年森委員、長友委員、辻人文学部長、森部附属図書館長、竹野地域研究センター長、川瀬（隆）学生部長、四方教務部長 〔事務局〕田山地事務局長、笠島企画総務課長、藤浪学務課長、山本学生支援課長、東企画総務課長補佐、梶原企画総務課長補佐、椎葉学生支援課長補佐、福元学務課長補佐
配付資料： 資料1-1 宮崎公立大学名誉教授の選考に関する教授会の意見聴取について（依頼） 資料1-2 宮崎公立大学名誉教授の選考に関する教授会の意見聴取について（回答） 資料1-3 令和4年度 宮崎公立大学名誉教授候補者（被推薦者）資料 ※回収資料 資料2 宮崎公立大学特任教員（日本語）の任用について 資料3 令和4年度公費派遣留学の実施について（報告） 資料4 令和4年度公費交換留学生（受入）について（報告） 資料5 令和4年度 宮崎公立大学 保護者説明会（概要） 資料6-1 昇任に係る自薦書の提出について（通知） 資料6-2 昇任に関する選考基準 資料6-3 令和4年度自薦に伴う必要資格及び提出資料	

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

I 議事

議事1 宮崎公立大学名誉教授の選考について

資料1-1, 1-2, 1-3に基づき、事務局及び学部長から、令和4年度名誉教授に関する教授会への意見聴取及び教授会からの回答について説明があった。
審議の結果、原案通り、名誉教授候補者（被推薦者）2名について承認された。

議事2 宮崎公立大学特任教員の任用について

資料2（当日配付資料）に基づき、事務局から、特任教員の任用について説明があった。
審議の結果、原案通り、主に外国人留学生の日本語教育や協定校からの短期留学の受入プログラムを担当する特任教員1名の任用について承認された。
なお、委員から、選考のプロセスや評価のポイントに関する質問があり、事務局及び学部長から回答があった。

II 報告

報告1 令和4年度公費派遣留学の実施について

資料3に基づき、委員から、令和4年度公費派遣留学の実施について、当初は全員が渡航による留学であったが、カナダは相手校の都合により2名のうち1名が渡航延期、ニュージーランドはオンライン留学（1か月）と現地留学（3か月）の混合、中国はオンライン留学（蘇州城市学院は蘇州大学に変更）へと変更となったことが報告された。

報告2 令和4年度公費交換留学生（受入）について

資料4に基づき、委員から、令和4年度後期に受入予定の学術交流協定校からの留学生は、中国・蘇州城市学院と韓国・蔚山大学校からのそれぞれ2名（中国・蘇州大学からは希望者がいなかった）であり、留学期間は、令和4年9月26日から令和5年3月31日である旨の報告があった。

報告3 令和4年度「保護者説明会」及び「保護者のための就職ガイダンス」の開催について

資料5に基づき、事務局から、令和4年度「保護者説明会」及び「保護者のための就職ガイダンス」について、昨年度と同様にオンラインで開催することが報告された。

報告4 専任教員の昇任に係る自薦書の提出について

資料6-1, 6-2, 6-3に基づき、事務局から、令和5年度昇任人事について、昇任に係る自薦書の提出を通知したことが報告された。

報告5 令和5年度及び令和6年度研究支援年の募集について

事務局から、令和5年度及び令和6年度研究支援年について募集を行ったが、応募はなかったことが報告された。

Ⅲ その他

委員から、保護者説明会における個別相談に丁寧に対応してもらいたいとの要望があった。また、委員から、定年退職後の専任教員の雇用に関する意見が出された。

次回開催日時 10月18日(火) 13:10～14:20

令和4年度 第6回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時	令和4年11月15日(火) 13:10～13:50
場 所	特別会議室
出 席	〔委員〕有馬学長、年森委員、長友委員、辻人文学部長、森部附属図書館長、竹野地域研究センター長、川瀬(隆)学生部長、四方教務部長 〔事務局〕田山地事務局長、笠島企画総務課長、藤浪学務課長、山本学生支援課長、東企画総務課長補佐、梶原企画総務課長補佐、椎葉学生支援課長補佐、福元学務課長補佐
配付資料	資料1 宮崎公立大学 2023(令和5)年度 学年暦(案) 資料2 宮崎公立大学 2023(令和5)年度 開講科目一覧(案) 資料3 オープンキャンパス参加者数の推移 資料4 令和5年度入学者選抜の志願状況(学校推薦型選抜I、特別選抜・編入学試験) 資料5 令和4年度春季異文化実習(米国・NZ・中国)の実施について(報告)

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

I 議事

議事1 令和5年度学年暦について

資料1に基づき、令和5年度学年暦について説明があった。

令和5年度の変更点として、ガイダンスや履修登録を学期始めより前にできるようにしたことや、一部、祝日に開講日があることが説明された。また、入試とオープンキャンパスについては入試部会、その他の情報については各部会からの意見を聞いて学年暦に反映していることが説明された。

審議の結果、原案通り、承認された。

議事2 令和5年度開講科目一覧について

資料2に基づき、令和5年度開講科目一覧について説明があった。

資料については、現時点の案であり、今後変更になる可能性があるとのことであった。

資料の網掛け部分が閉講になる科目で、教員の退職と辻学部長の学長就任に伴うものであることが説明された。その他、新任の先生のゼミが開講になること、キャリア教育科目の労働・雇用リテラシーが閉講となること、特任教員の採用に伴い日本語の教員が変更になること等が説明された。

審議の結果、原案通り、承認された。

II 報告

報告1 令和4年度オープンキャンパスについて

資料3に基づき、事務局から、令和4年度オープンキャンパスの参加者数の推移及びアンケート結果について報告があった。

オープンキャンパスは従来から年3回実施してきており、今年も昨年に引き続き、生徒1名につき、同伴1名、完全予約制で実施したとのことであった。参加人数は生徒326名、保護者211名の合計537名で昨年を若干上回ったことが報告された。

今年の特徴として、3年生の参加者が多かったこと、保護者の同伴率が高かったことがあげられ、また、新型コロナの影響により、昨年度に引き続き昼食を挟まない午後のプログラムとしたこと等について説明があった。

また、アンケート結果から、各回とも満足度が高かったこと、生徒が学生スタッフと触れ合うことで学校の雰囲気を感じ取ることができた、自身のロールモデルとしてイメージすることができた等の意見があったことが報告された。

本報告に対して、委員より、本学は街中で緑もあって雰囲気も良く、立地条件が良いことが評価されているのではないかと、オープンキャンパスでは、先輩と直接話をしたり、先輩が学内を案内・紹介したりすることが大事であり、説得力も増すので、これからも続けてほしいとの意見が出された。

また、県外から来ている生徒は必ず受験することが予想されるので大切にしてもらいたいとの意見も出された。

また、別の委員より、高校生や保護者が知りたいことと、大学が提供している情報とのギャップが出てきているのではないかととの質問があった。

⇒事務局より、学生の気質も変わってきており、自分から学ぶということができなくなってきており、他大学でも模擬授業だけではなく楽しめるようなイベントを入れているところもある。高校の教員の意見も聞きながら変化していかなければならないと感じているとの回答があった。

さら別の委員より、入試の情報を高校の教員には提供していると思うが、オープンキャンパスに来た学生に対して、予備校に依頼するなどして本学の入試情報の解説等をする機会を設けたらどうかとの意見が出された。

⇒入学試験部会長から、来年はコロナ以前のフルスペックを検討しているので、魅力的なものになよう検討していきたい、また、入試問題の解説については、アドミッションポリシーとの整合性が取れるように、試験区分同士のすり合わせが必要だと思っっているとの回答があった。

報告2 令和5年度入学者選抜の志願状況（推薦Ⅰ・特別選抜・編入学）について

資料4に基づき、事務局から、令和5年度入学者選抜の志願状況（学校推薦型選抜Ⅰ、特別選抜・編入学試験）について報告があった。

委員より、大学は推薦型選抜Ⅰの学校毎の枠を撤廃したが、生徒は複数の大学の推薦を受けられるのかとの質問が出された。

⇒事務局より、国公立は合格したら必ず入学することが条件となっており、1校しか推薦は受けられないと回答があった。

また、委員より、高校側は国公立が不合格になった場合は、その生徒を救済するために私大の推薦をすることはあるとの回答があった。

報告3 令和4年度春季異文化実習（米国・NZ・中国）の実施について

資料5に基づき、委員から、令和4年度春季異文化実習について、米国・NZについては、ワクチン接種3回を参加条件とし対面で行う予定であることが報告された。

また、中国については、短期滞在者の入国が認められないためオンラインで参加する予定であることが報告された。

Ⅲ その他

なし

次回開催日時 12月20日（火）13:10～14:20

令和4年度 第7回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日 時	令和4年12月20日(火) 13:10~13:50
場 所	特別会議室
出 席	〔委員〕有馬学長、年森委員、長友委員、辻人文学部長、森部附属図書館長、竹野地域研究センター長、川瀬(隆)学生部長、四方教務部長 〔事務局〕田山地事務局長、笠島企画総務課長、藤浪学務課長、山本学生支援課長、東企画総務課長補佐、梶原企画総務課長補佐、椎葉学生支援課長補佐、福元学務課長補佐
配付資料	資料1 2023(令和5)年度 宮崎公立大学 授業時間割(案) 資料2-1 宮崎公立大学における研究活動上の不正行為の防止等に関する規程改正主旨 資料2-2 宮崎公立大学における研究活動上の不正行為の防止等に関する規程新旧対照表 資料2-3 宮崎公立大学における研究活動上の不正行為の防止等に関する規程(案) 資料3 令和5年度の入学者選抜の志願状況等 資料4 令和4年度定期公開講座アンケート集計結果

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

I 議事

議事1 令和5年度時間割について

資料1に基づき、委員より、令和5年度授業時間割について説明があった。
審議の結果、原案通り、承認された。

議事2 宮崎公立大学における研究活動上の不正行為の防止等に関する規程の改正について

資料2に基づき、事務局より、研究活動上の不正行為の防止等に関する規程改正について説明があった。
委員から研究倫理教育に関する組織の設置について、内部質保証推進会議にて協議してほしいとの意見があった。
審議の結果、原案通り、承認された。

II 報告

報告1 令和5年度入学者選抜の実施状況について

資料3に基づき、事務局から、令和5年度入学者選抜の実施状況について報告があった。

報告2 令和4年度定期公開講座実施報告

資料4に基づき、委員から、令和4年度定期公開講座について報告があった。

III その他

委員から、公立大が地域にとってなくてはならない存在となるために、学生が活動をしていく中で、地域に入っていけるような機会を作ってほしいとの要望があった。
委員から、学校推薦型選抜Iについて、県内普通科高校、所謂進学校からの受験者増への期待について意見があった。
委員から、定期公開講座について、高齢者だけではなく、保護者世代からの参加者増への期待について意見があった。

次回開催日時 1月24日(火) 13:10~14:20

令和4年度 第8回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日	時：令和5年1月24日（火）13：10～13：55
場	所：特別会議室
出	席：〔委員〕有馬学長、年森委員、長友委員、辻人文学部長、森部附属図書館長、竹野地域研究センター長、川瀬（隆）学生部長、四方教務部長 〔事務局〕田山地事務局長、笠島企画総務課長、藤浪学務課長、山本学生支援課長、東企画総務課長補佐、椎葉学生支援課長補佐、福元学務課長補佐
欠	席：〔事務局〕梶原企画総務課長補佐
配付資料：	
	資料1-1 教員採用について（英語科音声指導法等）
	資料1-2 教員採用について（英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ等）
	資料1-3 教員選考会議等スケジュール（案）

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

I 議事

議事1 教員の新規採用について

資料1-1から1-3に基づき、事務局より、教員の新規採用について説明があった。審議の結果、一部修正の上、原案通り承認された。

<修正箇所>

- ・(1頁、I1(1)) 32名(学長除く)→31名(学長含む)
- ・(5頁、I1(1)) 32名→31名
- ・(7頁、4(3)③)「学位等」について、修士も可とする内容に修正する

<主な意見>

- ・資料1-1の採用について、担当科目に教職科目である「英語スピーチⅠ(SpeechⅢ)」は含まれているのか。
→科目名に「等」と記載しており含まれると解釈する。
- ・どちらの採用も教職課程に関わるという認識を応募者には持っていただきたい。
- ・資料1-2の採用について、担当科目に「専門演習」が含まれていない。
→採用後に担当いただく科目数を勘案し専門演習を除外している。将来、専門演習を担当する可能性はあるが、専門演習についての記載は行わない。
- ・資料1-2の採用について、学位等に修士も含むという説明があった。
→若手教員の応募を促す目的もあり含めたい。記載内容を修正する。
- ・資料1-2の採用について、どのような点を売りとして募集するのか。
→他大学では専門演習を持たない語学専門の教員はたくさん存在する。
- ・採用は「令和6年度までに」とあるが、令和5年度途中での採用もあるのか。
→令和5年度中の採用も想定される。
- ・募集サイトについて、英語表記もお願いしたい。
→日本語だけでなく英語での表記も行う。

II 報告

なし。

III その他

なし

次回開催日時 2月21日（火）13：10～14：20

令和4年度 第9回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日	時：令和5年2月21日（火）13：10～13：40
場	所：特別会議室
出	席：〔委員〕有馬学長、年森委員、辻人文学部長、森部附属図書館長、 川瀬（隆）学生部長、四方教務部長 〔事務局〕田山地事務局長、笠島企画総務課長、藤浪学務課長、山本学生支援課長、 東企画総務課長補佐、椎葉学生支援課長補佐、福元学務課長補佐
欠	席：長友委員、竹野地域研究センター長、梶原企画総務課長補佐
配付資料：	
	資料1 宮崎公立大学の教育課程等を定める規程の改正について
	資料2-1 令和5年度入学者選抜の出願状況
	資料2-2 令和5年度学校推薦型選抜Ⅱ 出願等の状況
	資料2-3 入学者選抜の志願者等の年度別推移

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

I 議事

議事1 「宮崎公立大学の教育課程等を定める規程」の改正について

資料1に基づき、委員より、「宮崎公立大学の教育課程等を定める規程」の改正について説明があった。審議の結果、原案通り承認された。

II 報告

報告1 令和5年度入学者選抜の実施状況について

資料2-1から資料2-3に基づき、事務局より、令和5年度入学者選抜の実施状況について報告があった。

委員より、高校側の声として①理高文低の傾向強い②大学入学共通テストの得点が理系は上がり文系は下がっており、自分が受けたい大学を受験する学生が増えた③その中で、英語の平均は15点下がっており、本学を避け私学に回った受験生が多いのではないかと④県内の普通科高校自体志願者が減っており、今後どう優秀な学生を集めるかが課題となるとの意見があった。

III その他

委員より、①本学の認知度を高める広報の在り方、具体的な取組例、②ITに関心のある生徒への受験対策、③本学の学生が授業等の活動で地域に出ていくことの重要性の3点について意見があり、今後のカリキュラムの検討等において参考にしていくことを確認した。

次回開催日時 3月23日（木）13：10～14：20

令和4年度 第10回公立大学法人宮崎公立大学 教育研究審議会 議事録

日	時：令和5年3月23日（火）13：10～14：30
場	所：特別会議室
出	席：〔委員〕有馬学長、年森委員、辻人文学部長、森部附属図書館長、 竹野地域研究センター長、川瀬（隆）学生部長、四方教務部長 〔事務局〕田山地事務局長、笠島企画総務課長、藤浪学務課長、山本学生支援課長、 東企画総務課長補佐、梶原企画総務課長補佐、椎葉学生支援課長補佐、 福元学務課長補佐
欠	席：長友委員
配付資料：	
資料1-1	令和5年度計画の作成について
資料1-2	公立大学法人宮崎公立大学令和5年度計画（案）
資料2-1	教員採用について（案） ※当日配付
資料2-2	教員採用について（案） ※当日配付
資料3	教育研究審議会委員候補
資料4	学生の留学（英語圏・韓国）について
資料5	令和4年度就職状況
資料6	入学者選抜の志願者等の年度別推移 ※当日配付
資料7	教員の採用について

委員出席確認、資料確認、議事録作成者確認に続いて学長の進行の下、議事に入った。

I 議事

議事1 公立大学法人宮崎公立大学令和5年度計画（案）について

資料1-1、1-2に基づき、事務局より、公立大学法人宮崎公立大学令和5年度計画（案）（教育研究審議会に係る計画）について説明があった。
審議の結果、原案通り承認された。

議事2 教員の新規採用について

資料2-1、2-2に基づき、事務局より、教員の新規採用について説明があった。
委員から、資料2-1「4 担当科目等（2）担当科目、（3）応募資格④教育歴等」について、現状の記述では応募者が限定されてしまう懸念がある旨の意見が出され、言語・文化専攻に確認し書きぶりを修正することとし、原案通り承認された。

議事3 教育研究審議会の委員について

資料3に基づき、有馬学長より、教育研究審議会の委員について説明があった。審議の結果、原案通り承認された。

II 報告

報告1 学生の留学（英語圏・韓国）について

資料4に基づき、委員より、令和5年度の英語圏（米国・カナダ・ニュージーランド）及び韓国への公費派遣留学生について報告があった。

報告2 令和4年度就職状況について

資料5に基づき、事務局より、令和4年度就職状況について報告があった。
委員から、県外出身者のうち県内就職者はどのくらいいるか、公立中学、高校の教員採用試験受験者や教職課程履修者の状況はどうか等の質問が出され、それぞれ事務局から回答があった。

報告3 令和5年度入学者選抜の実施状況について

資料6に基づき、事務局より、令和5年度入学者選抜の実施状況について報告があった。
委員から、後期日程試験受験者等の様子が様変わりする（どこかに入学できればよいと考える受験者が増えているのではないか）中、受験者にとって「どうしても行きたい大学」となるような魅力（取り組み等）が大学にはより一層必要であろうとのコメントがあった。

報告4 令和4年度教員の採用について

資料7に基づき、事務局より、令和4年度教員の採用について、メディア・国際経営・英語系計3名の採用予定であったが、結局1名（メディア）のみ採用（国際経営・英語系は採用に至らなかった）する旨の報告があった。

Ⅲ その他

事務局より、次回開催日程及び令和5年度の当該会議の開催時間に変更になる旨のアナウンスがあった。

次回開催日時 4月18日（火）14：40～16：00